

2022年度 決算説明会資料

2023年5月12日

きんでん

目次

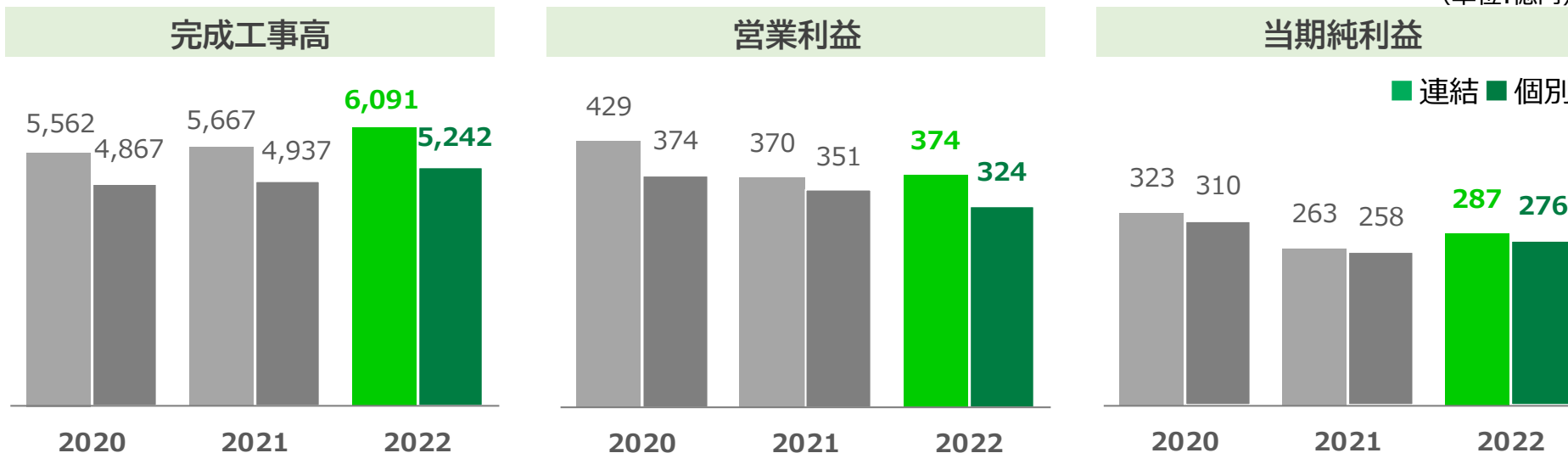
1. 決算概要と今後の見通し	(1 1)	【連結】 完成工事高の増減	…	1 6
(1) 決算概要	…	3	(1 2)	【連結】 海外受注・完成工事高の状況
(2) 今後の見通し	…	4		(地域別) … 1 7
2. 業績の状況	(1 3)	【連結】 営業利益の増減要因	…	1 8
(1) 【個別】 予想との比較	…	6	(1 4)	【連結】 特別損益 … 1 9
(2) 【個別】 前期比較	…	7	(1 5)	【連結】 貸借対照表の状況 … 2 0
(3) 【個別】 工事種別の状況 (受注)	…	8	(1 6)	【連結】 キャッシュ・フローの状況 … 2 1
(4) 【個別】 工事種別の状況 (完成)	…	9	3. 2023業績予想	
(5) 【個別】 完成工事高 受注時期別			(1) 【個別】 2023予想	… 2 3
(配電工事を除く)	…	1 0	(2) 【連結】 2023予想	… 2 4
(6) 【個別】 工事種別手持工事高の状況	…	1 1	4. 株主還元	
(7) 【個別】 販売費及び一般管理費の状況	…	1 2	(1) 配当について	… 2 6
(8) 【個別】 特別損益	…	1 3	(2) 自己株式の取得について	… 2 7
(9) 【連結】 予想との比較	…	1 4	5. 参考資料	
(1 0) 【連結】 前期比較	…	1 5	主な受注工事	… 2 9

1. 決算概要と今後の見通し

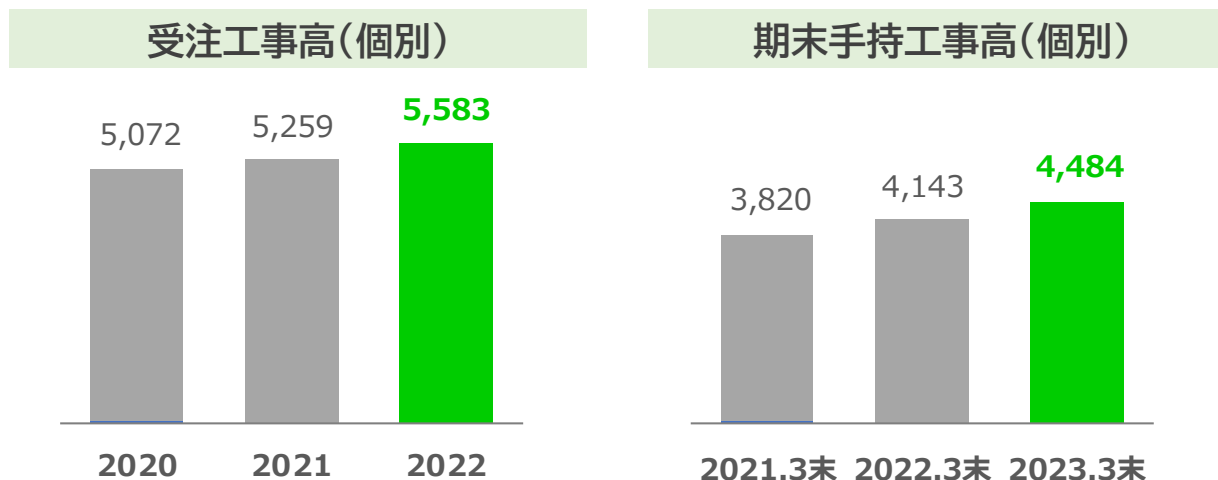
(1) 決算概要

- 連結では増収・増益
- 個別では増収、営業利益・経常利益は減益も当期純利益は増益

(単位:億円)



- 受注工事高は前期を323億円上回る、高い実績を確保



**期末手持工事高は
高水準
(前期比+340億円)**

(2) 今後の見通し

2023年度の受注環境は引き続き堅調に推移する見込み

- ✓ 受注は、現状の豊富な営業情報量も踏まえ、引き続き高水準の目標
- ✓ 完成は、期首手持工事高と堅調な受注環境を踏まえ、昨年実績より増収を予想
- ✓ 利益は、ほぼ昨年水準並を予想

新中期経営計画3年目に入り、“飛躍に向けて力を蓄える期間”と位置づけた前半の最終年度であり、しっかりと基盤固めに取り組み、後半のさらなる飛躍に繋げていく

2. 業績の状況

(1) 【個別】 予想 (2023.1修正発表) との比較

■ 受注工事高

一般電気工事等の受注環境が堅調に推移し、予想を上回った。

■ 完成工事高

期首の手持工事がほぼ想定通りに進捗したことに加え、堅調な受注に支えられ、予想を上回った。

■ 各利益

完成工事高、工事利益率が、予想を上回ったことから、各利益は予想を上回った。

(工事利益率 15.5%→15.8%)

(単位:百万円)

	予想	実績	増減額	増減率
受注工事高	530,000	558,320	+28,320	+5.3%
完成工事高	515,000	524,233	+9,233	+1.8%
営業利益	30,000	32,410	+2,410	+8.0%
営業利益率	5.8%	6.2%	+0.4	-
経常利益	34,000	37,125	+3,125	+9.2%
当期純利益	25,000	27,672	+2,672	+10.7%
1株当たり当期純利益	121.98 円	135.03 円	+13.05 円	

(2) 【個別】 前期比較

- ・受注工事高は、前期より増加し過去最高水準となった。
- ・完成工事高は、豊富な期首手持工事高からの完成が増え増加。
- ・営業利益、経常利益は、工事利益率の低下や販管費の増加もあり減少。
- ・当期純利益は、特別利益の増加、特別損失の減少により増加。

(単位:百万円)

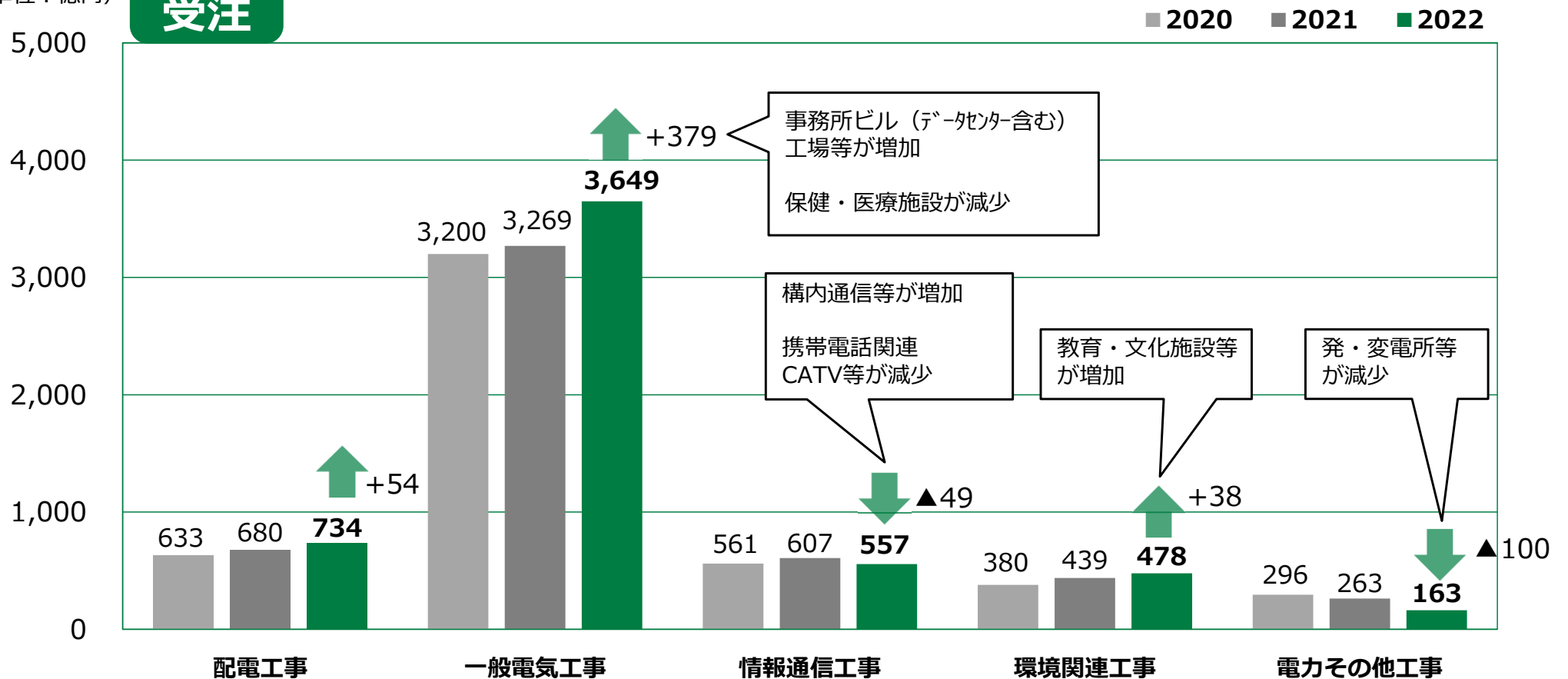
	2021	2022	増減額	増減率
受注工事高	525,998	558,320	+32,322	+6.1%
完成工事高	493,724	524,233	+30,508	+6.2%
完成工事総利益	83,043	82,785	△257	△0.3%
完成工事総利益率	16.8%	15.8%	△1.0	-
販売費及び一般管理費	47,907	50,375	+2,468	+5.2%
営業利益	35,136	32,410	△2,726	△7.8%
営業利益率	7.1%	6.2%	△0.9	-
経常利益	39,443	37,125	△2,318	△5.9%
当期純利益	25,824	27,672	+1,848	+7.2%
1株当たり当期純利益	126.00 円	135.03 円	+9.03 円	

(3) 【個別】工事種別の状況（受注）

- ・配電工事、一般電気工事、環境関連工事は増加。
- ・電力その他工事は予定していた案件の延期等があり、減少。
- ・受注工事高は順調に推移し、受注時採算も改善基調にある。

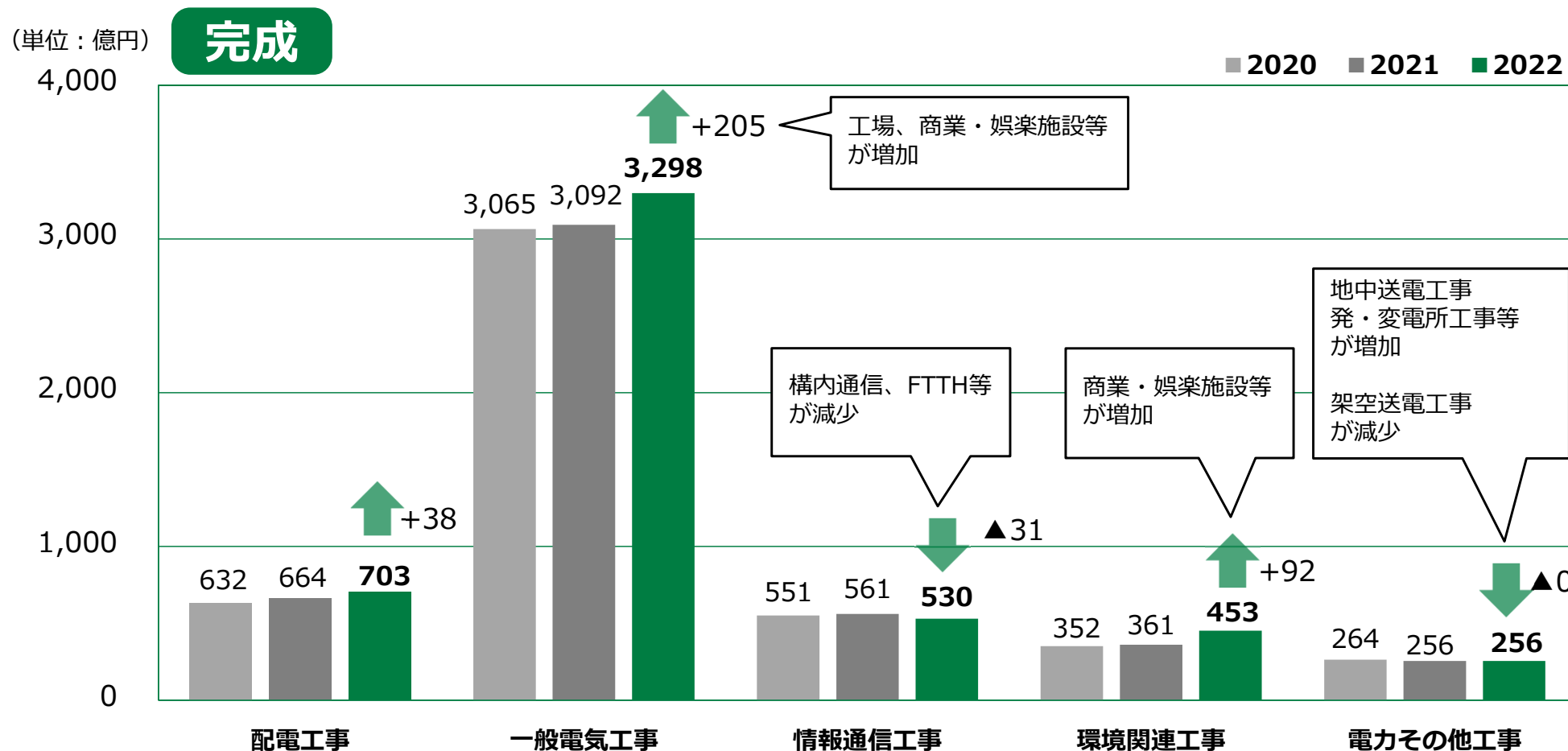
(単位：億円)

受注



(4) 【個別】 工事種別の状況 (完成)

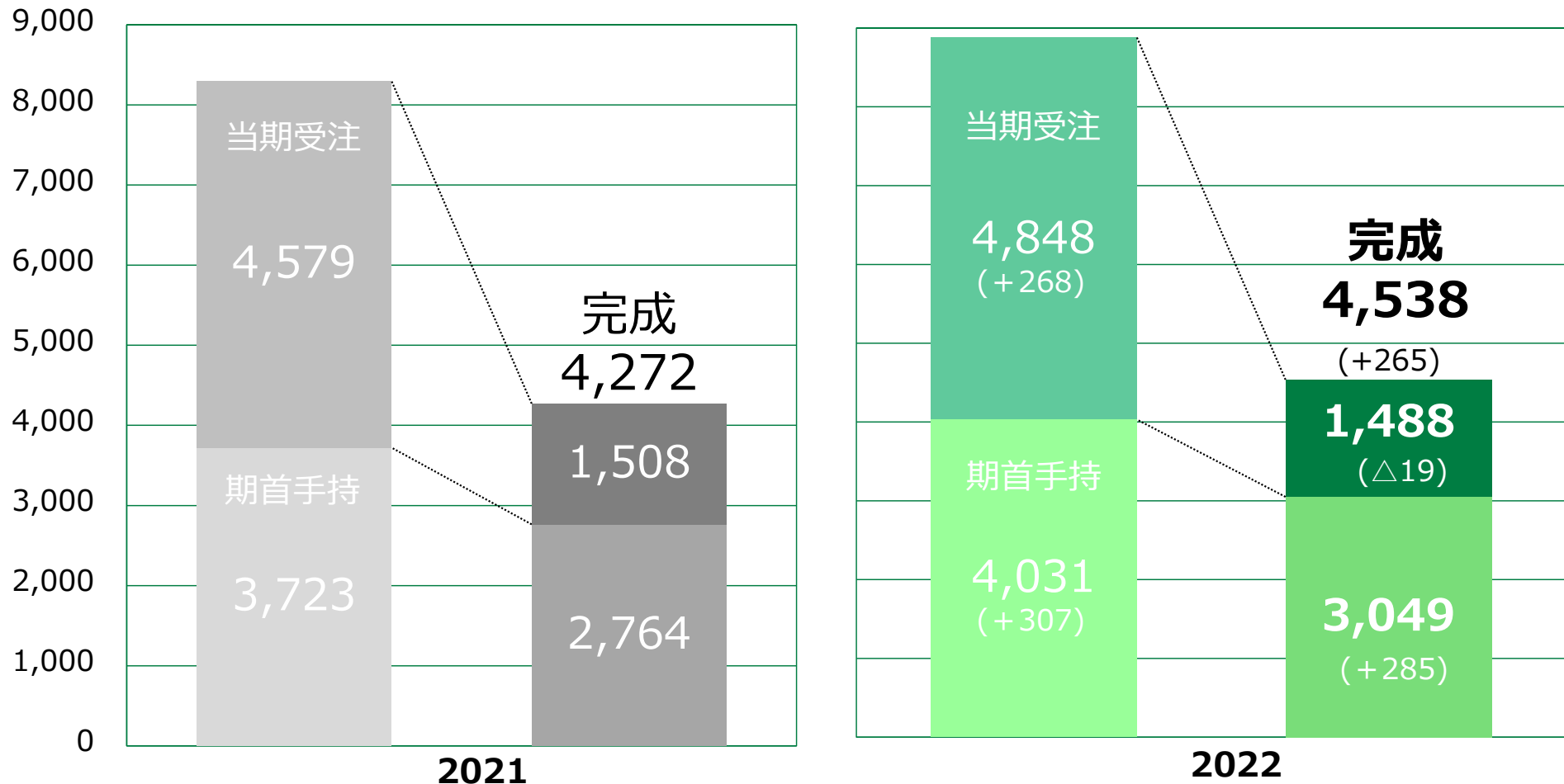
- ・ 配電工事、一般電気工事、環境関連工事は増加。
- ・ 情報通信工事は減少、電力その他工事は前年並み。



(5) 【個別】完成工事高 受注時期別（配電工事を除く）

- ・ 期首手持からの完成工事高は、285億円増加。（2,764 → 3,049億円）
- ・ 当期受注からの完成工事高は、19億円減少。（1,508 → 1,488億円）
（一般電気工事については、当期受注からの完成工事高も増加）

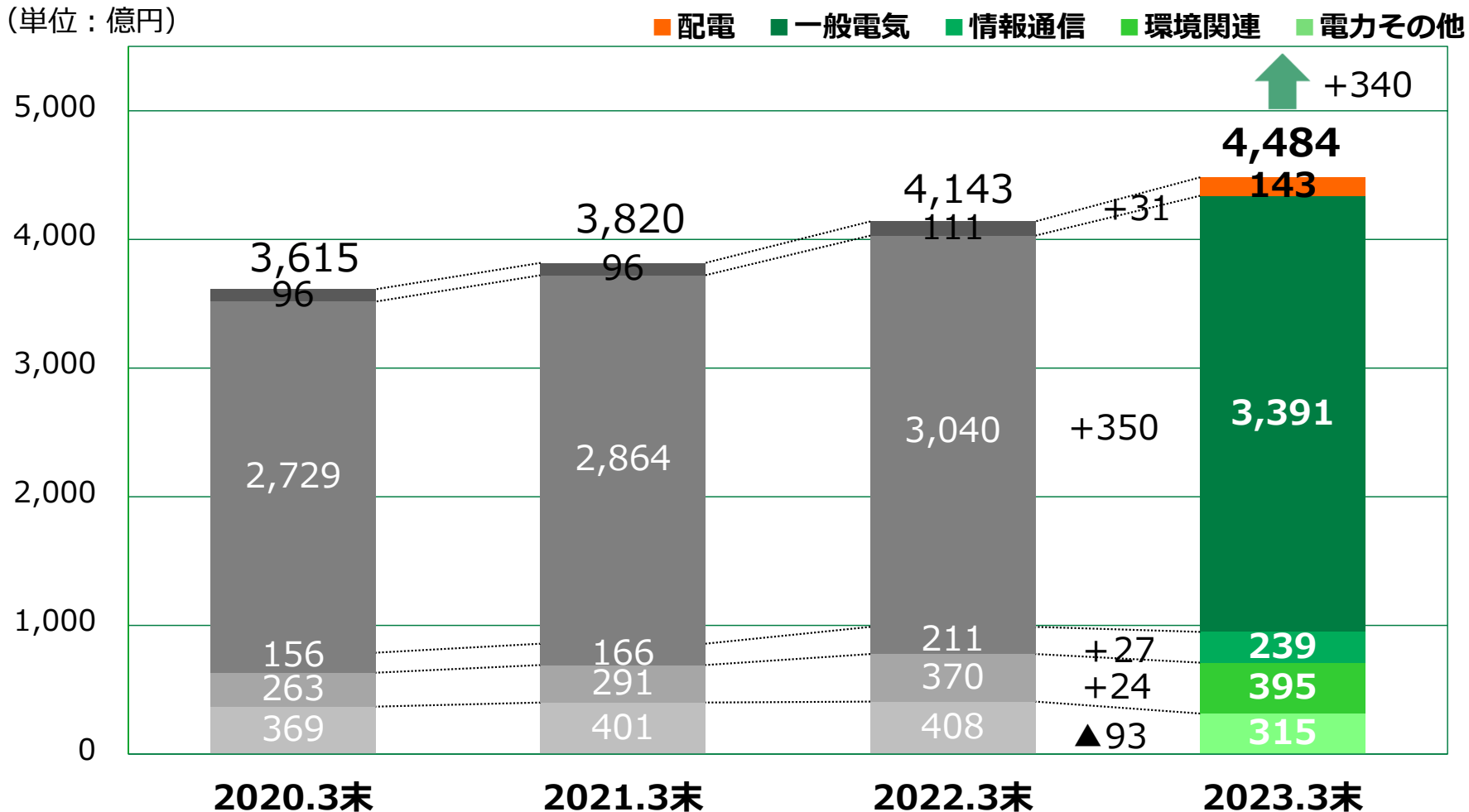
(単位：億円)



(6) 【個別】 工事種別手持工事高の状況

- ・ 手持工事高は前期末より340億円増加。（特に一般電気工事が大きく増加）
- ・ 引き続き高水準を維持しており、利益率も改善傾向にある。

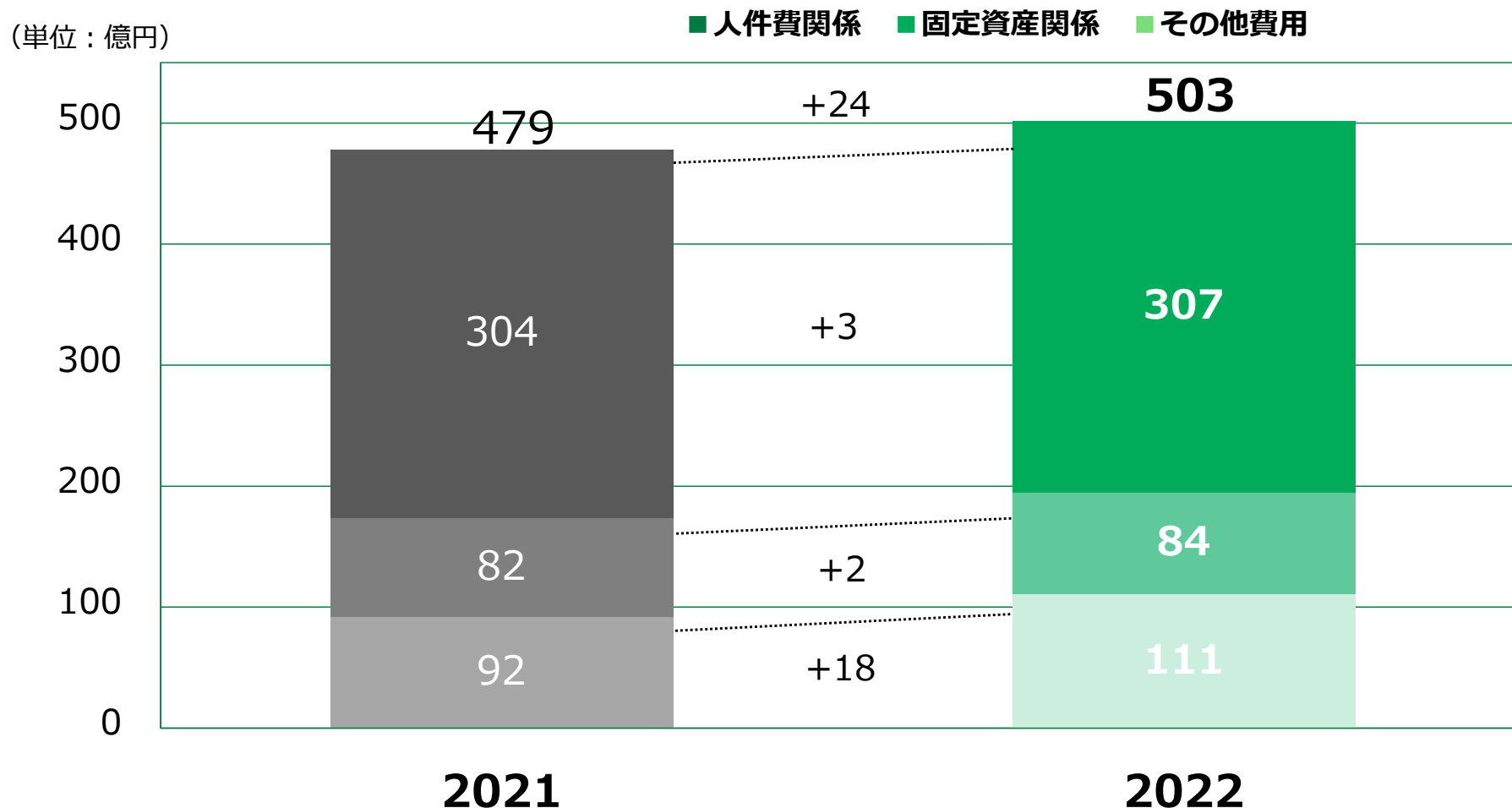
(単位：億円)



(7) 【個別】販売費及び一般管理費の状況

■ 前期より24億円増加。

- ・ 新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、交通費等が増加し、働き方改革関連で人材派遣費などが増加した。



(8) 【個別】 特別損益

■ 経常利益は23億円の減少したが、特別利益の増加、特別損失の減少に、法人税等を反映した結果、当期純利益は18億円の増加となった。

- ・ 特別利益は、当社保有株式の売却益の増加により17億円増加。
- ・ 特別損失は、前期に計上した関係会社出資金評価損の反動等により29億円減少。

(単位:百万円)

	2021	2022	増減額
経常利益	39,443	37,125	△ 2,318
特別利益	1,154	2,886	1,731
投資有価証券売却益	1,107	2,812	1,705
その他	47	74	26
特別損失	3,366	394	△ 2,971
固定資産除却損	55	240	185
減損損失	13	137	123
関係会社出資金評価損	3,267	0	△ 3,267
その他	29	16	△ 13
税引前当期純利益	37,231	39,616	2,384
法人税等	11,407	11,943	536
当期純利益	25,824	27,672	1,848

(9) 【連結】 予想 (2023.1修正発表) との比較

- 完成工事高、各利益ともに予想を上回った。
 - ・ 主に、きんでん個別の実績が、予想を上回ったことによる。
 - ・ 子会社については、ほぼ想定通りであった。

(単位:百万円)

	予想	実績	増減額	増減率
完成工事高	600,000	609,132	+9,132	+1.5%
営業利益	34,800	37,430	+2,630	+7.6%
営業利益率	5.8%	6.1%	+0.3	-
経常利益	36,900	40,243	+3,343	+9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,100	28,722	+2,622	+10.0%
1株当たり当期純利益	127.35 円	140.15 円	+12.80 円	

(10) 【連結】前期比較

- 完成工事高、各利益ともに増加。
 - ・ 営業利益は、きんでん個別は減少したが、子会社が増加し、3億円増加。
 - ・ 経常利益は、きんでん個別は減少したが、子会社が増加し、2億円増加。
 - ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、きんでん個別、子会社共に増加し、23億円増加。

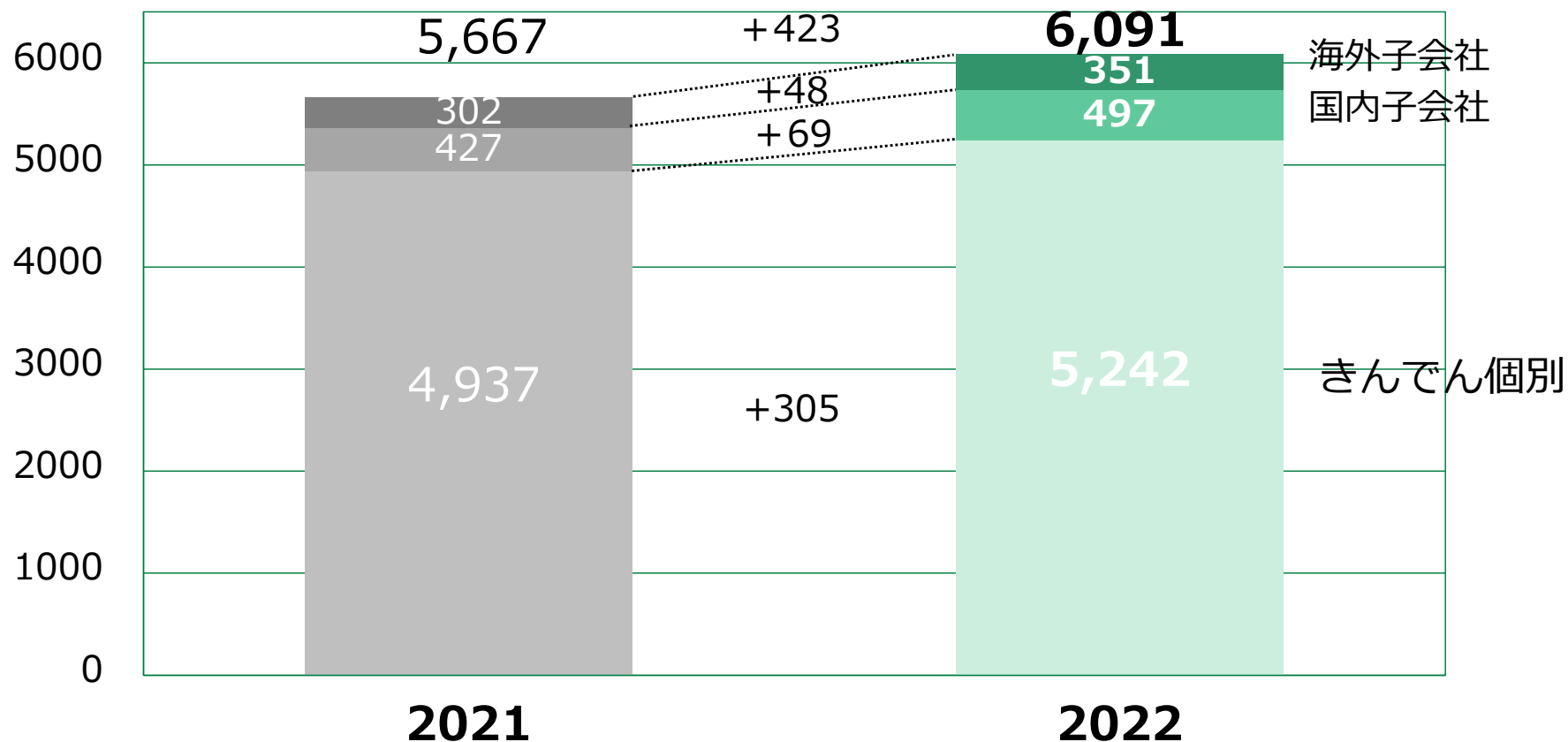
(単位:百万円)

	2021	2022	増減額	増減率
完成工事高	566,794	609,132	+42,337	+7.5%
完成工事総利益	97,147	99,025	+1,877	+1.9%
完成工事総利益率	17.1%	16.3%	△0.8	-
販売費及び一般管理費	60,059	61,595	+1,535	+2.6%
営業利益	37,087	37,430	+342	+0.9%
営業利益率	6.5%	6.1%	△0.4	-
経常利益	39,977	40,243	+266	+0.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,366	28,722	+2,356	+8.9%
1株当たり当期純利益	128.65 円	140.15 円	+11.50 円	

(11) 【連結】完成工事高の増減

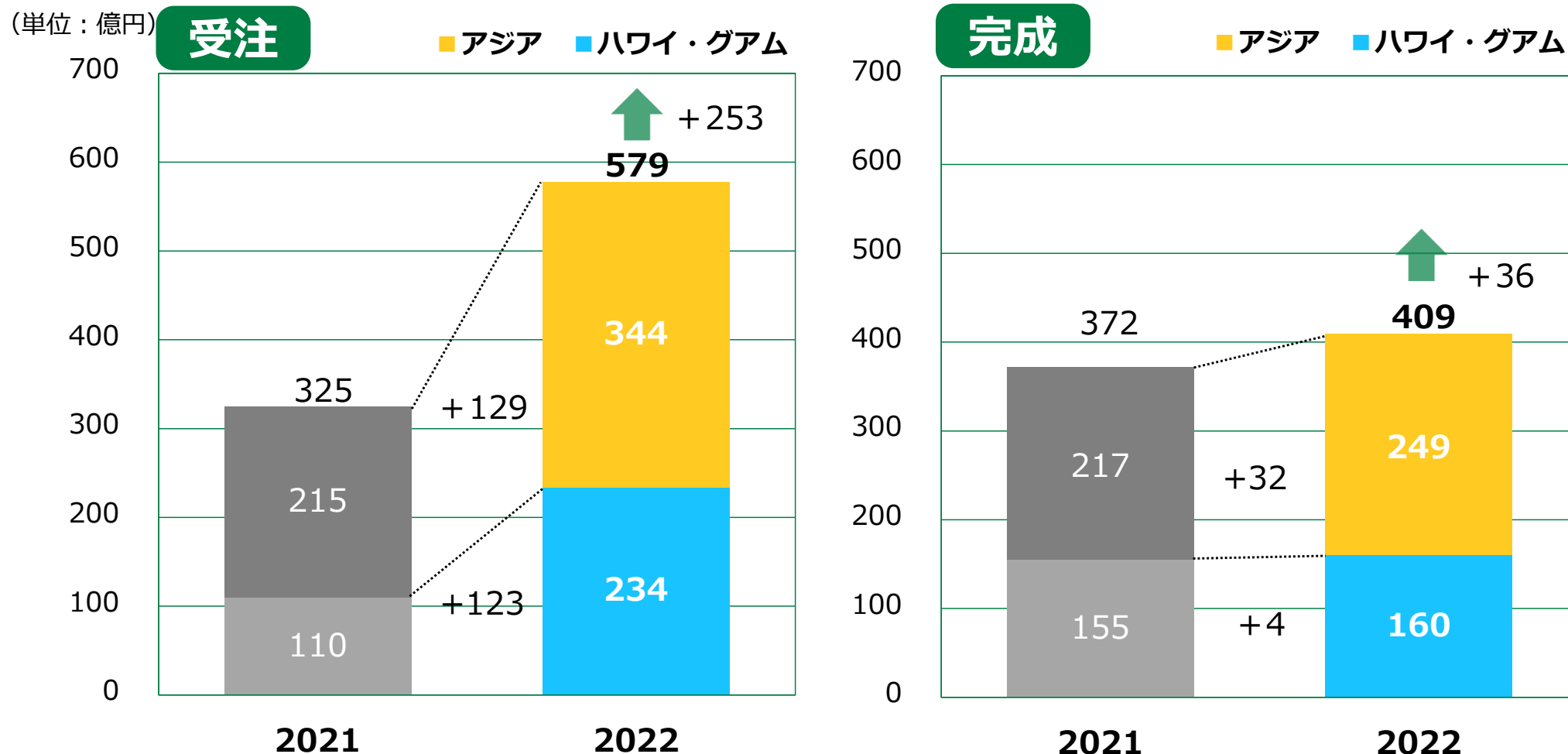
- 前期から423億円の増加。
 - ・ きんでん個別は、305億円増加。
 - ・ 国内子会社は、69億円増加。（西原衛生+59億円）
 - ・ 海外子会社は、48億円増加。（キンデンベトナム+30億円）

(単位：億円)



(12) 【連結】海外受注・完成工事高の状況（地域別）

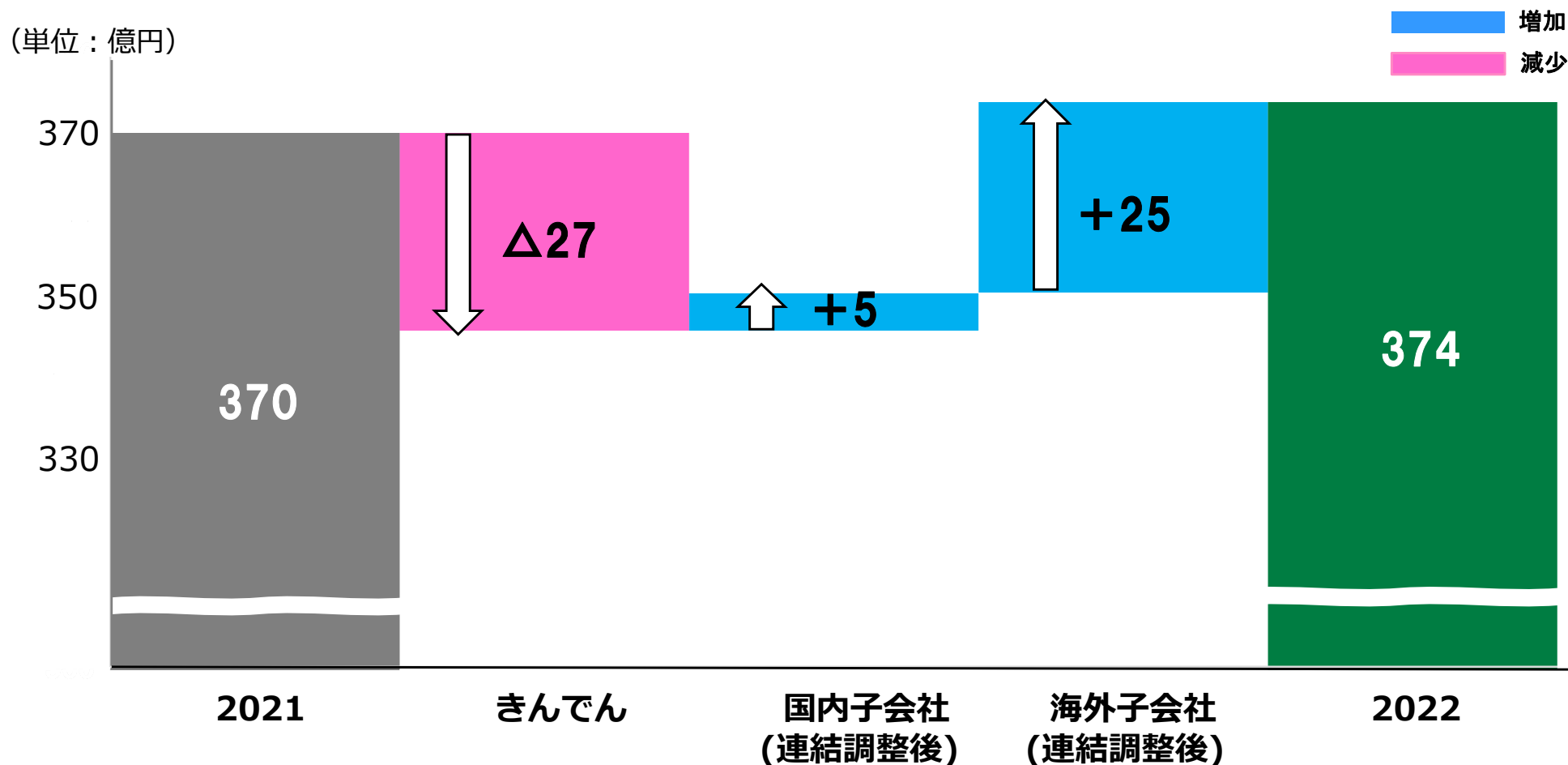
コロナ禍の影響は全体として落ち着きをみせ、受注、完成共に前期より増加した。



(13) 【連結】 営業利益の増減要因

■ 対前期3億円の増加

- ・ きんでん個別は、工事利益率の低下や販管費の増加もあり27億円減少。
- ・ 国内子会社は、西原衛生工業所の売り上げ増が貢献し、5億円増加。
- ・ 海外子会社は、前期に計上した貸倒引当金の反動増もあり、25億円増加。



(14) 【連結】特別損益

■ 経常利益は2億円増加。特別利益の増加、特別損失の減少に法人税等を反映した結果、当期純利益は23億円の増加となった。

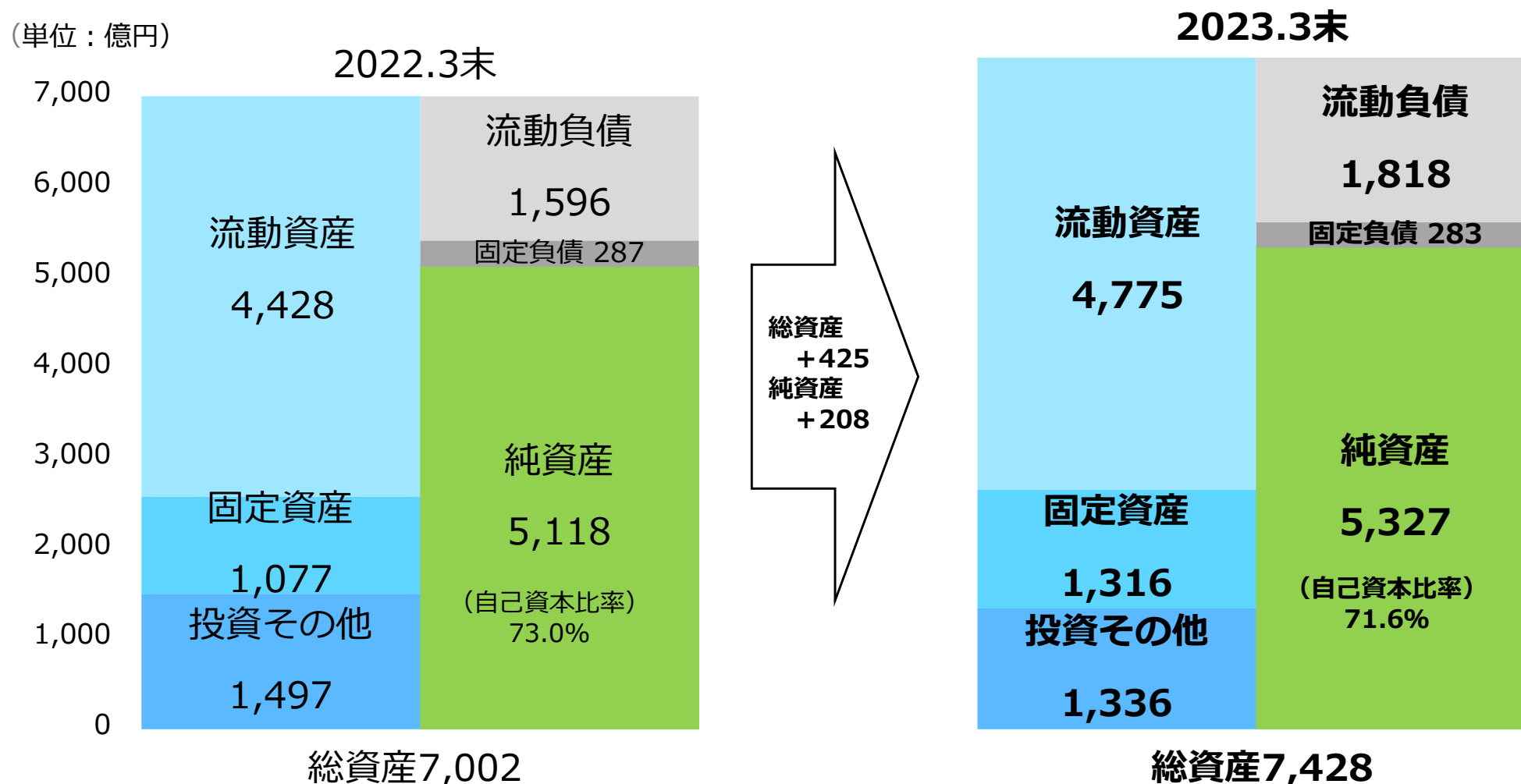
- ・ 特別利益は、当社保有株式の売却益の増加等により17億円増加。
- ・ 特別損失は、前期に計上した減損損失の反動等により12億円減少。

(単位:百万円)

	2021	2022	増減額
経常利益	39,977	40,243	266
特別利益	1,171	2,896	1,725
投資有価証券売却益	1,121	2,814	1,692
その他	49	82	33
特別損失	1,703	431	△ 1,272
固定資産除却損	87	259	172
減損損失	1,584	137	△ 1,447
その他	31	34	2
税金等調整前当期純利益	39,444	42,709	3,264
法人税 他	13,078	13,986	908
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,366	28,722	2,356

(15) 【連結】貸借対照表の状況

前期末と比較し、総資産は425億円増加、純資産は208億円増加し、自己資本比率は71.6%となった。



(16) 【連結】キャッシュ・フローの状況

- ・当期のキャッシュ・フローは、営業活動が+301億円、投資活動が△273億円、財務活動が△93億円。
- ・現金及び現金同等物は50億円減少し、1,794億円となった。

(単位:億円)

	2021	2022		増減額
	実績	実績	主な内容	
営業活動によるキャッシュ・フロー	329	301	税引前利益の計上 +427 売上債権の増加 △230 仕入債務の増加 +85 法人税等の支払 △131	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99	△ 273	固定資産の取得 △287	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82	△ 93	配当金の支払 △77	△10
現金及び現金同等物の増減額	153	△ 50		△203
現金及び現金同等物の期末残高	1,845	1,794		△50

3. 2023業績予想

(1) 【個別】 2023予想

- ・受注工事高は、引き続き堅調に推移し、高水準を維持すると予想。
- ・完成工事高は、豊富な期首手持工事の進捗に加え、堅調な受注予想に基づき、増収と予想。
- ・工事利益率は前期並みと予想、完成工事高増加に伴い工事利益も増加を見込むが、販管費については働き方改革関連費用等の増加を見込み、営業利益は、ほぼ前年水準並みと予想。

(単位:百万円)

	2022	2023予想	増減額	増減率
受注工事高	558,320	520,000	△ 38,320	△ 6.9%
完成工事高	524,233	530,000	+ 5,766	+ 1.1%
営業利益	32,410	31,500	△ 910	△ 2.8%
営業利益率	6.2%	5.9%	△ 0.3	—
経常利益	37,125	35,400	△ 1,725	△ 4.6%
当期純利益	27,672	26,500	△ 1,172	△ 4.2%
1株当たり当期純利益	135.03 円	130.69 円	△4.34 円	

(2) 【連結】2023予想

- 完成工事高は増加、各利益は、ほぼ前年実績並みと予想。
 - ・ きんでん個別の予想に加え、国内子会社は改修工事需要が堅調に推移すると予想。
 - ・ 海外子会社は、一部市場環境の厳しいエリアはあるものの、増収・増益と予想。
 - ・ 子会社全体としても増収・増益と予想。

(単位:百万円)

	2022	2023予想	増減額	増減率
完成工事高	609,132	619,000	+9,867	+1.6%
営業利益	37,430	37,100	△ 330	△ 0.9%
営業利益率	6.1%	6.0%	△ 0.1	—
経常利益	40,243	39,400	△ 843	△ 2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,722	28,500	△ 222	△ 0.8%
1株当たり当期純利益	140.15 円	140.56 円	+0.41 円	

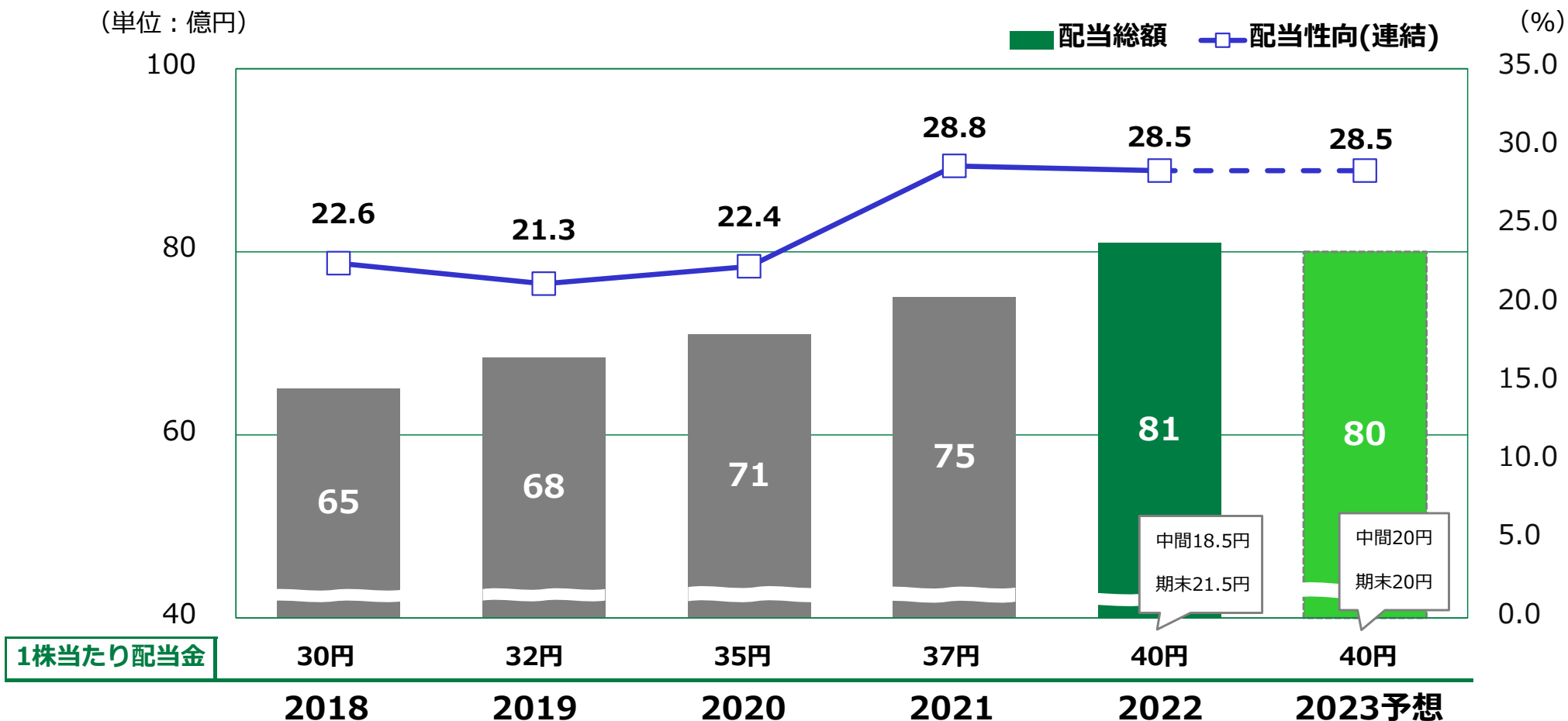
4. 株主還元

(1) 配当について

配当方針

株主各位への利益配分は経営の重要課題の一つと位置付け、安定的かつ継続的な配当を基本方針とし、業績及び財務の状況を踏まえて実施していく。

(単位：億円)



(2) 自己株式の取得について

取得総額60億円または、500万株を上限として実施中
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.44%)

1. 自己株式の取得を行う理由

機動的な資本政策を遂行し、資本効率の向上および株主還元の充実を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	5,000,000株(上限)
(3) 株式の取得価格の総額	60億円(上限)
(4) 取得期間	2023年3月10日～2024年1月31日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付け

3. 自己株式の取得状況

(1) 取得期間	2023年3月10日～2023年3月31日(約定ベース)
(2) 取得した株式の総数	295,100株
(3) 株式の取得価格の総額	462,850,295円

5. 參考資料

主な受注工事

工事名	工事種別	施工場所
日本橋一丁目中地区再開発事業新築電気設備工事（C街区）	一般電気	東京都
うめきた2期区域開発事業のうち南街区賃貸棟建設に伴う電気設備工事	一般電気	大阪府
JASM新築工事のうちCUP棟電気設備工事	一般電気	熊本県
札幌圏消防救急デジタル無線システム更新工事	情報通信	北海道
(仮称)イオンモール豊川白鳥町新築に伴う空調衛生設備工事	一般電気/環境関連	愛知県
(仮称)琵琶湖高島ホテル計画に伴う機械設備工事	一般電気/環境関連	滋賀県
新加古川線改良工事ならびにこれに伴う除却工事 1工区	電力その他	兵庫県
和歌山県紀の川蓄電所設置工事	電力その他	和歌山県

Kinden

本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

■ I Rに関するお問い合わせ

株式会社きんでん I R・広報部 I Rチーム

〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号

電話：06-6375-6026